

保健体育

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
保健体育	保健	1	2年次・全	必履修
使用教科書(出版社)		副教材(準備するもの)		履修の条件・連絡
現代高等保健体育 (大修館書店)		現代高等保健体育ノート		2年次必履修科目

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けようとしている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとする態度や創造性の基礎を養う。

2 学習計画と観点別評価項目

学年	学期	学習内容(単元・項目)	月	学習のねらい	評価の観点	
1	学 期	第3単元 生涯を通じる健康	1	ライフステージと健康	4	1 3
			2	思春期と健康		1 2
			3	性意識と性行動の選択	5	1
			4	妊娠・出産と健康		1 2
			5	避妊法と人工妊娠中絶	6	1 3
			6	結婚生活と健康		1 2 3
			7	中高年期と健康	7	1
2	学 期	第4単元 健康を支える環境づくり	8	働くことと健康	9	1 2 3
			9	労働災害と健康		1 2
			10	健康的な職業生活	10	2
			1	大気汚染と健康		1 2 3
			2	土壌汚染・水質汚濁と健康	11	1 2
			3	環境と健康にかかわる対策		1 3

令和5年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

3 学 期	4	ごみの処理と上下水道の整備	12	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な水の確保のために必要な上下水道の整備の現状と課題について理解する。生活環境を保全するためのごみ処理の現状と、今後の課題について理解する。 	1 2 3
	5	食品の安全性	1	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の安全性が損なわれると健康被害が生じる可能性があることを理解する。人々の健康を支えるためには食品の安全性の確保が重要であることを理解する。 	1 2 3
	6	食品衛生にかかわる活動	2	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の安全性を確保するための行政や生産・製造者の役割について理解する。食品による健康被害を防ぐために私たち消費者が果たす役割について理解する。 	1 3
	7	保健サービスとその活用		<ul style="list-style-type: none"> ・保健行政の役割について理解する。健康の保持・増進には保健サービスの適切な活用が必要であることを理解する。 	1 2 3
	8	医療サービスとその活用	3	<ul style="list-style-type: none"> ・医療保険の仕組みについて理解する。医療サービスの適切な活用方法について理解する。 	1 2 3
	9	医薬品の制度とその活用		<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品には承認制度や販売に関する規制が設けられていることについて理解する。医薬品は、使用方法に関する注意を守り、正しく使う必要があることを理解する。 	1 2 3
	10	さまざまな保健活動や社会的対策		<ul style="list-style-type: none"> ・日本や世界では健康課題に対応した保健活動や対策が行われていることを理解する。国際機関や民間機関などにより行われている様々な保健活動や対策について理解する。 	1 3
11	健康に関する環境づくりと社会参加	<ul style="list-style-type: none"> ・自他の健康の保持・増進には健康を支える環境づくりが重要であることを理解する。健康を支える環境づくりへの積極的な参加が自他の健康につながることを理解する。 	1 2 3		
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度	
	規 準	○個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	○健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	○生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かな活力ある生活を営む態度を養う。	
	手 段	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の態度の観察 ・提出物の提出状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の応答の観察 ・定期考査とレポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習 ・定期考査 	
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度を平常点とし、平常点：定期考査を30：70の割合で評価する。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に教科書中心に授業を展開するので、教科書を読むなどの予習をしておこう。 ・授業ノートなどの提出物はすべて提出しよう。 ・ノートや演習問題は確実に仕上げよう。 				